

第5章 健康づくり対策の推進

第1節 乳幼児期（0歳～6歳）

1 健康の目標

健康なところとからだの土台をつくろう。

地域での交流を持ち、楽しみながら子育てをしよう。
親子で適正な生活習慣を身につけよう。
手作りの良さを見直し、親子で基本的な食習慣を身につけよう。
むし歯のない子どもを増やそう。
育児を通して、親や家族も子どもと共に育ちあおう。
親と子の関わりを深め、確実な愛着関係を築こう。
母乳で育てよう。
児童虐待をなくそう。

2 現状及び課題

阿賀野市の出生率は7.7ポイント(平成14年)で15年前の10.5ポイントから年々低下傾向にあります。

少子化・核家族化や生活様式の多様化が進む中、地域との交流が少ない中で、孤立した子育てをしている人が増え、加えて、育児に自信が持てない人も多い状況です。さらに、乳幼児の生活リズムの夜型傾向、テレビ・ビデオの長時間視聴が子どもの発達にも影響を及ぼしており、親の労働状況や生活時間の影響も背景となっています。食生活においては、朝食ぬきや間食が多い等の問題があり、幼児のむし歯本数が県平均より高く、また肥満の増加も危惧されます。

このようなことから、子どもの心身とも健やかな成長・発達を守り、育児をしている親や家族が心身ともに健康でいられることが大きな課題となっています。

3 目標に向けての施策の展開方向(対策)

行政の取組み

子どもの心身の異常と親の育児不安を早期に発見し、適切な継続支援を行います。

生活習慣の正しい知識の普及を行います

食生活の基本を確立するため、バランス食、うす味、手作りの普及を行います。

むし歯予防のため、フッ素を応用した歯質の強化で、歯の健康管理を支援します。

親子が地域の中で交流できる場の充実を図ります。

子育ての現状や子どもの障害、地域の情報等について周知に努めます。

健診・訪問等で親子とのつながりを持ち、子育ての支援を行います。

児童虐待予防に努めます。

母乳栄養を推進します。

歯科健診では、むし歯にならないために歯科衛生士によるブラッシング指導をしています。

ちゃんと磨けているかな？

個人・家庭・地域の取組み

子どもの健康を守る生活習慣を考えよう。

歯の健康管理の習慣を身につけ、むし歯を防ごう。

親子でかかわる時間を増やそう。

家族全体で子育てしよう。

地域の交流の機会に、親子の参加を呼びかけよう。

子育てを地域全体で見守り支えよう。

朝ごはんをしっかり食べよう、食べさせよう。

母乳で育てよう。



主要事業

具体的な事業内容	関係機関等
<p> 妊娠期の健康相談・教室の開催 母子・父子健康手帳交付、育児相談 母親学級・マタニティ教室 産婦・新生児訪問の実施 乳幼児健診・訪問の実施 3～4か月児健診 9～10か月児健診 7か月訪問の実施 6～7か月児健診(医療機関委託) 1歳6か月児健診 3歳児健診 フッ素・サハライド塗布(10か月児から就学前まで) 1歳児歯科健診 1歳6か月児健診 3歳児歯科健診 ブックスタート事業(4か月児～) 父親・家族への育児協力体制の啓発 各種教室・講習会の開催 離乳食講習会の実施(4か月児) 育児セミナー・2歳児教室 親子遊びの教室 親子プレー教室 子育て支援連絡会議の開催 子ども虐待予防ネットワークとの連携 子どもの障害に対する支援体制の充実 一般への啓発 予防接種(ポリオ、三種混合、麻疹、風疹、BCG、 日本脳炎) </p>	<p> 幼稚園 保育園 こころとことばの相談室 子育て支援センター 新発田地域振興局 医療機関 医師会 歯科医師会 健康推進員 食生活改善推進委員 民生児童委員 子ども虐待予防ネットワーク会議 子育て支援連絡会議 </p>

第2節 学童・思春期（7歳～18歳）

1 健康の目標

心身ともに健やかにのびのびと充実した日々を過ごそう。

規則正しい生活習慣を身につけよう。
家族とバランスのよい食事を楽しもう。
運動を楽しもう。
適正体重を維持しよう。
むし歯、歯周疾患を減らそう。
自分の将来像や目標を持とう。
悩みやストレスを上手に発散しよう。
望まない妊娠や性感染症をなくそう。
飲酒・喫煙・薬物乱用をなくそう。
児童虐待をなくそう。

2 現状及び課題

近年、学童・思春期においては、テレビ、ゲーム、パソコン、携帯電話などの普及また、塾などの習い事が当たり前となっていることから夜型生活となり、生活リズム全体に悪影響を及ぼし、身体的、精神的な健康への影響が懸念される現状にあります。

また、飽食の時代といわれて久しい昨今、健康を守るためには、自ら選んで食べる力が必要とされている中、児童生徒のまわりにはいろいろな食品があり、特に、健康食品や加工食品（インスタント食品・スナック菓子等）などを好んで食べる傾向にあります。

一方、思春期における性の問題や引きこもり、うつ、統合失調症などのこころの問題、喫煙、飲酒、薬物の問題など、まさに子どもから大人への移行期にはこころとからだの成長がアンバランスなため、この期に発生するさまざまな問題を抱えています。

これらは、健康に対する概念を確立させるこの時期において重要な課題であります。

3 目標に向けての施策の展開方向(対策)

行政の取組み

地域交流の場、健康に関する情報提供の場、いきいの場づくりを推進します。

バランス食を推進します。

家庭での分煙を普及します。

運動や文化活動の場、施設の充実を図ります。

運動や文化活動の人材発掘と育成、PRを行います。

自主サークル、趣味の活動を推進します。

安心して相談できる場づくりを推進します。

フッ素、むし歯、歯肉炎予防事業を推進します。

学校を通じ、たばこ、アルコール薬物の正しい知識を普及します。

児童の虐待予防に努めます。

個人・家庭・地域の取組み

朝ご飯をしっかり食べよう、食べさせよう。

夜更かしはやめよう。

家族団らんの時間を持とう。

楽しめる運動を見つけよう。

歯の定期検診を受けて、セルフケアを継続しよう。

多くのことを体験し、学ぼう。

ストレスや悩みを上手に解消する方法を身につけよう。

悩みを相談できる人、場を持とう。

親子で性や性感染症の正しい知識を身につけよう。

家庭内では分煙しよう。

虐待を予防する地域の目を養おう。

主要事業

具体的な事業内容	関係機関等
地域・学校の連携により健康教育・健康相談を実施 中学生生活習慣病予防事業 赤ちゃんふれあい体験の実施 たばこ、アルコール、薬物の健康教育の実施 生活リズムや生活習慣病についての健康教育の実施 性に関する講演会の実施 食推伝達講習会との連携 食育教育の推進 収穫体験、給食試食会	教育委員会 小学校 中学校 高校 PTA 民生児童委員 公民館 健康推進員 新発田地域振興局
安心して相談できる場づくりの推進 ピアカウンセラーの育成とピアカウンセリングの実施 ピアルームの開設 電話相談事業	食生活改善推進委員 医療機関 青少年問題協議会 青少年育成センター 子育て支援連絡会議
運動、文化活動の普及 ボランティア育成と人材発掘、活動の場の提供 教室、サークルのPR、運営協力	こども虐待ネットワーク会議 警察 体育協会 文化協会
むし歯、歯肉炎予防対策の実施 フッ素洗口(中学生まで) むし歯予防教室、歯肉炎予防教室の開催	老人クラブ 婦人会 青年会
子育て支援連絡会議の開催	こども会 こどものこころとことばの相談室
公共施設の禁煙と分煙の推進	
子ども虐待予防ネットワーク会議との連携	
予防接種の推進	
安心して遊べる場の確保 放課後に学校を開放し、ボランティアによるクラブ活動の実施 地域公会堂、集会所を拠点にした世代交流の場づくり	

第3節 青年期（19歳～39歳）

1 健康の目標

心身の健康の大切さに気づき、よい生活習慣を身につけ健康づくりに取り組もう。

自分らしく生きるためにさまざまなことに挑戦しよう。
栄養のバランスを考えた食生活を送ろう。
健全な母性・父性を育てよう。
自分に適した運動をしよう。
ストレスと上手につきあおう。
歯周病を減らそう。
お酒は適量を知り、楽しく飲もう。
タバコを減らそう。

2 現状及び課題

社会的には、働く、子どもを育てるなど極めて活動的な時期で多忙でゆとりのない生活を送る傾向にあり、ストレスも増し、心のトラブルも多くなる時期です。

しかし、実際には具体的な症状が現れないことが多く、栄養バランスの偏りや朝食の欠食、運動不足、睡眠不足、飲酒、喫煙など、健康を気にしながらも実践に結びつきにくい状況にあります。

充実した壮年期を迎えるため、趣味や運動、ストレス解消をしながら、生活習慣を改善していくことが重要です。また、このための動議づけが課題となります。

3 目標に向けての施策の展開方向(対策)

行政の取組み

健診の提供と受診しやすい環境をつくれます。

参加しやすい健康教室や健康相談を開催します。

心の健康づくりを推進します。

運動教室や運動サークルを支援します。

歯科健診を実施します。

地域・家庭ぐるみでの子育てを支援します。

地域・公共の場における禁煙を推進します。

バランス食を推進します。

職域との連携により、健康管理状況の把握に努めます。

個人・家庭・地域の取組み

健康教育・健康相談に積極的に参加しよう。

定期的に基本健診、各種がん検診を受けよう。

定期的に歯科健診を受けよう。

趣味やゆとりの時間を持とう。

自分に合った運動をしよう。

禁煙を心がけ、地域・職場で分煙しよう。

家族一緒の時間を持とう。

朝ごはんをしっかり食べよう。



講演会より

食事・運動・休養などの生活習慣病を見直して元気で長生き！！

主要事業

具体的な事業内容	関係機関等
<p>健診の実施</p> <p>基本健診</p> <p>各種がん検診</p> <p>骨粗しょう症健診</p> <p>歯科健診</p> <p>人間ドック</p> <p>脳ドック</p> <p>土、日曜ドック</p> <p>健康相談の実施</p> <p>指導会</p> <p>病態別教室</p> <p>個別相談(教育、訪問)</p> <p>夜間、休日の健康教育、相談</p> <p>継続的な運動の推進</p> <p>運動普及員の活動支援と養成、育成</p> <p>運動教室等の開催</p> <p>トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の育成配置</p> <p>運動しやすい環境の整備</p> <p>こころの健康づくりの推進</p> <p>講演会の開催</p> <p>相談会の実施</p> <p>個別相談(訪問・電話)</p> <p>広報による啓発</p> <p>禁煙の推進</p> <p>家庭、職場、公共施設などの分煙の徹底</p> <p>禁煙環境の整備</p> <p>広報による啓発</p> <p>地区組織活動の育成と連携</p> <p>職域との連携の推進</p> <p>健康管理状況の把握</p> <p>産業医との連携</p>	<p>職域</p> <p>食生活改善推進委員</p> <p>健康推進員</p> <p>運動普及員</p> <p>運動指導員</p> <p>公民館</p> <p>体育協会</p> <p>文化協会</p> <p>民生児童委員</p> <p>社会福祉協議会</p> <p>事業所</p> <p>医師会</p> <p>歯科医師会</p> <p>医療機関</p> <p>新発田地域振興局</p>

第4節 壮年期（40歳～64歳）

1 健康の目標

若いうちから生活習慣を見直し、健康づくりに努めよう。

健康づくりのため、運動習慣を身につけよう。
ストレスを上手に発散し、ゆとりを持った生活をこころがけよう。
栄養のバランスを考えた食生活を送ろう。
お酒は適量にして楽しく飲もう。
タバコを減らそう。
歯周病を減らそう。

2 現状及び課題

壮年期は仕事においても、家庭においても子育てや親の介護等で責任の重い年代です。近年は長引く不況のためにリストラや失業、転職など、身体的・精神的に負担が大きく、男性も女性も健康障害が起こりやすい現状にあります。また、企業においては働く人々の健康管理体制が充分とはいえず、特に中小企業においてはその傾向が強いとされます。このような社会背景のなかで、壮年期は身体機能が徐々に低下し、生活習慣病が現れやすい時期です。市の統計では、がん死亡が全死亡の4割を占め、基本健診では高脂血症と判定されている人は5割を超え、40歳代の約8割がストレスを感じているという結果でありました。しかし、胃がん検診受診者は、申込者に対して約6割、大腸がん検診は申込者の7割しか受けてなく、健康管理についての認識を広める必要があります。

このように、来る高齢期に向け、生活の質を視野に入れて、自らの健康について関心を高めてもらうことが課題でもあります。

3 目標に向けての施策の展開方向(対策)

行政の取組み

お酒やタバコが健康に及ぼす影響についてその知識の普及に努めます。

健康教室などで、生活習慣病予防の情報を提供します。

総合健診の充実を図ります。

歯科健診を実施します。

職域との連携により、健康管理状況の把握に努めます。

心の健康づくりについて啓発を行います。

個人・家庭・地域の取組み

適度な運動と休息をとり、バランスのとれた食事をしよう。

1週間に1～2日は、休肝日をつくろう。

定期的に基本健診・各種がん検診を受けよう。

定期的に歯科健診を受けよう。

積極的にPTA等の地域活動に参加しよう。



健診会場より

年に1度の健診は、自分の健康状態を知る絶好の機会です！！

健診会場より

健診は、受けるだけでは意味がありません。結果によっては、生活改善を…！！



主要事業

具体的な事業内容	関係機関等
<p>健診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本健診 各種がん検診 骨粗しょう症健診 成人歯科健診(40歳・50歳の節目健診) 人間ドック 脳ドック 土、日曜ドック <p>生活習慣病予防の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本健診指導会 糖尿病、高脂血症予防教室 骨粗しょう症健診事後指導会等 <p>健康相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間健康座談会 運動教室等 <p>継続的な運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動普及員の活動支援と養成、育成 運動教室等の開催 トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の育成配置 運動しやすい環境の整備 <p>壮年期の生活実態調査</p> <p>こころの健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会の開催 相談会の実施 個別相談(訪問・電話) 広報による啓発 <p>職域との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康管理状況の把握 産業医との連携 	<p>職域</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進委員 健康推進員 運動普及員 運動指導員 公民館 体育協会 文化協会 民生児童委員 社会福祉協議会 事業所 医師会 歯科医師会 医療機関 新発田地域振興局

第5節 高齢期（65歳以上）

1 健康の目標

心身ともに健康で長生きしよう。

個人的にも社会的にも、『元気』な高齢者になろう。
低栄養にならない食生活を送ろう。
しっかり噛める歯を持とう。
家庭や社会での役割を持ち、積極的に地域活動に参加しよう。
運動習慣を身につけよう。
自分を磨く、生きがいを持とう。

2 現状及び課題

阿賀野市の高齢化率は、平成14年23.5%と全国に比べても高く、10年ほど進んでいる状況です。また、要介護認定者は、年々増加の一途をたどり、在宅・施設サービス費用も高額で推移しています。

また、健康寿命が延びたといっても、亡くなる前の約6年間は健康でない状況にあり、「認知症や介護される状態になるのでは」といった老後の先行きに大きな不安を抱いている人が多い現状です。

これらを踏まえ、心身共に健康で長生きするためには、できるだけ自立できるように努めながら、生きがいを持ち、自分らしくいきいきとした生活を送ることが重要です。

そのためには、健康を高めるための基礎知識と「自分でできることは自分です。」「地域社会の一員として貢献する。」という意識の高揚を図りながら、いかに生涯現役を貫けるようにするかが、課題となっています。

3 目標に向けての施策の展開方向(対策)

行政の取組み

各種相談・教室等事業の充実と周知を図ります。

運動への関心を高め、親しむ環境をつくれます。

支え合う地域づくりを推進します。

世代の交流が図られる環境をつくれます。

心の健康づくりを推進します。

バリアフリーの環境整備を進めます。

個人・家庭・地域の取組み

低栄養にならない食事をしよう。

家庭や社会での役割を持とう。

積極的に地域活動や各種教室に参加しよう。

人とのふれあいや生きがいを持とう。

身のまわりのことは、自分でしよう。

運動をしよう。

定期的に歯科健診を受けよう。

社会の動きに関心を持とう。

奉仕活動をしよう。

自然にふれあう機会を持とう。



さあ、みんなで健康体操をして、心と体を元気にしよう！！
『健康あがのいきいきまつり』での様子



主要事業

具体的な事業内容	関係機関等
健診の実施	医師会
基本健診	歯科医師会
各種がん検診	在宅介護支援センター
定期歯科健診の啓発	デイサービスセンター
介護予防健診の検討	社会福祉協議会
健康教育、講演会の実施	公民館
転倒予防教室	体育指導委員
認知症予防教室	健康推進員
健康講座	運動推進員
男の料理教室	食生活改善推進委員
老人クラブ健康教育	民生児童委員
うつ病、認知症の早期発見のための講演会	老人クラブ連合会
高齢者学級	文化協会
健康相談の実施	シルバー人材センター
在宅介護者口腔ケア指導	新発田地域振興局
一般健康相談	
心配ごと相談・法律相談等の周知	
継続的な運動の推進	
高齢者向けニュースポーツ (キンボール、ゲートボール、グランドゴルフ他)	
スポーツ体験プログラム(トレッキング・ウォーキング他)	
トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の 育成配置	
体育館一般開放の実施	
支え合い・世代交流活動の推進	
ボランティアの育成支援(配食ボランティア、援助員他)	
介護食ボランティア事業の実施	
地域のお茶の間	
地区公民館の活用	
生きがい対策の充実	
生きがい対策事業	
コミュニティ事業(クリーン作戦、ラジオ体操、自治会行事、 小学生の登下校時間の巡回)	
高齢者事業関係者・関係団体の連携	
男性の地区組織の結成	
連携会議	
高齢者インフルエンザ予防接種	

ライフステージ及び領域ごとの取り組み

		乳幼児期(0歳～6歳)	学童・思春期(7歳～18歳)	青年期(19歳～39歳)	壮年期(40歳～64歳)	高齢期(65歳以上)
		生まれたら・・・	学校に入ったら・・・	父親・母親になったら・・・	責任が重くなったら・・・	元気な高齢者になるために・・・
目 標		<p>【重点目標】・健康なこころとからだの土台をつくらう。</p> <p>母乳で育てよう。 手作りの良さを見直し、基本的な食習慣を身につけよう。 親と子の関わりを深め、確実な愛着関係を築こう。</p> <p>育児を通して、親や家族も子どもと共に育ちあおう。 地域での交流を持ち、楽しみながら子育てをしよう。</p> <p>むし歯のない子どもを増やそう。 親子で適正な生活習慣を身につけよう。</p> <p>児童虐待をなくそう。 →</p>	<p>【重点目標】・心身ともに健やかにのびのびと充実した日々を過ごそう。</p> <p>家族とバランスのよい食事を楽しもう。 運動を楽しもう。 自分の将来像や目標を持とう。 悩みやストレスを上手に発散しよう。 適正体重を維持しよう。 飲酒・喫煙・薬物乱用をなくそう。</p> <p>むし歯、歯周疾患を減らそう。 規則正しい生活習慣を身につけよう。 望まない妊娠や性感染症をなくそう。 児童虐待をなくそう。</p>	<p>【重点目標】・心身の健康の大切さに気づき、良い生活習慣を身につけ、健康づくりに取り組もう。</p> <p>栄養のバランスを考えた食生活を送ろう。 →</p> <p>自分に適した運動をしよう。 自分らしく生きるために、さまざまなことに挑戦しよう。 ストレスと上手につきあおう。 健全な母性・父性を育てよう。 タバコを減らそう。 →</p> <p>お酒は適量を知り、楽しく飲もう。 歯周病を減らそう。 →</p>	<p>【重点目標】・若いうちから生活習慣を見直し、健康づくりに努めよう。</p> <p>栄養のバランスを考えた食生活を送ろう。 運動習慣を身につけよう。 →</p> <p>ストレスを上手に発散し、ゆとりを持った生活をこころがけよう。 タバコを減らそう。 お酒は適量にして楽しく飲もう。 歯周病を減らそう。</p>	<p>【重点目標】・心身ともに健康で長生きしよう。</p> <p>低栄養にならない食生活を送ろう。 運動習慣を身につけよう。 個人的にも社会的にも「元気」な高齢者になるよう、家庭や社会での役割を持ち、積極的に地域活動に参加しよう。 自分を磨く、生きがいを持とう。</p> <p>しっかり噛める歯を持とう。</p>
	栄養・食生活	<p>食育事業 離乳食講習会の実施(4か月児～) 育児セミナー・2歳児教室</p>	<p>食推伝達講習会との連携 食育の推進 収穫体験 給食試食会</p>	<p>訪問指導 健康相談</p>		<p>食育事業 男の料理教室 介護食ボランティア事業の実施</p>
	身体活動・運動	<p>産婦・新生児訪問、乳幼児健診・訪問の実施(3～4か月・9～10か月・1・6歳・3歳児健診) (7か月訪問・6～7か月児健診(医療機関委託)) 親子遊びの教室(1歳～就園前まで) 親子プレー教室 子どもの障害に対する支援体制の充実 予防接種(ポリオ、三種混合、麻疹、風疹、BCG、日本脳炎)</p>	<p>赤ちゃんふれあい体験の実施 運動、文化活動の普及(ボランティア育成と人材発掘、活動の場の提供、教室、サークルのPR、運営協力) 予防接種の推進 安心して遊べる場の確保(放課後に学校を開放し、ボランティアによるクラブ活動の実施) 地域公会堂、集会所を拠点にした世代交流の場づくり)</p>	<p>健診の実施(基本健診、各種ガン検診、骨粗しょう症健診人間ドック、脳ドック、土日ドック) 母子・父子健康手帳交付、育児相談 母親学級・マタニティ教室 父親・家族への育児協力体制への啓発 健康相談(個別相談、夜間・休日の健康教育、相談)</p> <p>継続的な運動の推進(運動普及員の活動支援と養成、育成、運動教室等の開催、トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の育成配置、運動しやすい環境の整備) 職域との連携の推進(健康管理状況の把握、産業界との連携)</p>	<p>健診の実施(基本健診、各種ガン検診、骨粗しょう症健診、人間ドック、脳ドック、土日ドック)</p> <p>生活実態調査の実施</p> <p>健康相談(夜間健康座談会、運動教室等)</p> <p>継続的な運動の推進(運動普及員の活動支援と養成、育成、運動教室等の開催、トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の育成配置、運動しやすい環境の整備) 職域との連携の推進(健康管理状況の把握、産業界との連携)</p>	<p>健診の実施(基本健診、各種ガン検診、介護予防健診の検討)</p> <p>高齢者インフルエンザ予防接種 健康教育、講演会の実施(転倒予防教室、認知症予防教室、健康講座、老人クラブ健康教育) 継続的な運動の推進(高齢者向けニュースポーツ、スポーツ体験プログラム、トレーニングルームの利用推進及び運動指導者の育成配置、体育館一般開放の実施)</p>
	休養・こころ	<p>ブックスタート事業(4か月児から) 子育て支援連絡会議の開催 子ども虐待予防ネットワークとの連携</p>	<p>性に関する講演会の実施 ピアカウンセラーの育成とピアカウンセリングの実施 ピアルームの開設 電話相談事業 子育て支援連絡会議の開催 子ども虐待予防ネットワークとの連携</p>	<p>講演会の開催 相談会の実施 個別相談(訪問・電話) 広報による啓発</p>	<p>講演会の開催 相談会の実施 個別相談(訪問・電話) 広報による啓発</p>	<p>うつ病、認知症の早期発見のための講演会 高齢者学級 心配ごと相談・法律相談等の周知 地域のお茶の間、地区公民館の活用、生きがい対策事業、コミュニティ事業</p>
	たばこ		<p>たばこによる健康教育の実施 公共施設の禁煙と分煙の推進</p>	<p>家庭・職場・公共施設などの分煙の徹底 禁煙環境の整備 広報による啓発</p>		
	アルコール		<p>アルコールによる健康教育の実施</p>			
	歯	<p>フッ素・サハライド塗布(10か月児から就学前まで) 1歳・1.6歳・3歳児歯科健診</p>	<p>フッ素洗口(中学生まで) むし歯予防教室、歯肉炎予防教室の開催</p>	<p>歯科健診</p>	<p>成人歯科健診(40歳・50歳の節目健診)</p>	<p>定期歯科健診の啓発</p>
	生活習慣病		<p>中学生生活習慣病予防事業 健康教育の実施</p>	<p>基本健診指導会 → 糖尿病・高脂血症予防教室 → 骨粗しょう症健診事後指導会等 →</p>	<p>基本健診指導会 糖尿病・高脂血症予防教室 骨粗しょう症健診事後指導会等</p>	